

目標達成計画

事業所名 グループホーム楽家生広永

作成日 : 令和4年1月24日

評価結果

市町提出日 : 令和4年1月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	現在職員への研修は所長もしくは管理者が実施しているが、他の者で専門性を持つ職員は少ないため、今後そういった職員の育成に力を入れていく必要がある。	認知症ケアや身体拘束廃止等の専門性を持つよう職員を育成し、職場全体における職員の資質向上につなげることができる。	職員の経験や能力に応じ外部の研修に職員を参加させると共に、事業所内での研修も充実させ、個の力量の向上につなげていく。また、無資格の職員を採用した場合は、できるだけ早く認知症基礎研修に参加させ、資格を取得させる（R4年1月時点で介護業務に従事する職員は、国の求める認知症基礎研修以上の資格を有している）。	6 か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。